

授 業 科 目 一 覧

〔共通科目〕

	1 年次配当科目		2 年次配当科目		3 年次配当科目		卒業必要単位数
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教初 年 育次	0 G U 教 育	1					1年次前期に履修すること。 修得した単位は、卒業単位数に充当できる。
	フレッシュマンスキル	1					
教 養	哲 学	2	物 理 学	2	○インターンプログラムⅡ	2	10単位以上
	倫 理 学	2	化 学	2	○海外研修Ⅱ	2	
	宗 教 学	2	コ ン ピ ュ ー タ 演 習	2	人 文 芸 術 基 礎 探 究	2	
	歴 史 学	2	健 康 科 学 論	2	人 文 芸 術 実 践 探 究	2	
	文 学	2	ス ポ ー ツ 科 学 学 論	2	人 文 芸 術 P B L 学 習	2	
	国 語	2	ス ポ ー ツ 文 化 論	2	社 会 科 学 基 礎 探 究	2	
	文 化 語 と 芸 術	2	ス ポ ー ツ A	1	社 会 科 学 実 践 探 究	2	
	経 済 と 社 会	2	ス ポ ー ツ B	1	社 会 科 学 P B L 学 習	2	
	法 律 と 社 会	2	ス ポ ー ツ C	1	自 然 科 学 基 礎 探 究	2	
	現 代 社 会 法	2	吹 奏 特 田 講 義 学	2	自 然 科 学 実 践 探 究	2	
	社 会 治 理	2	教 養 特 別 講 義 A	2	自 然 科 学 P B L 学 習	2	
	政 治 学	2	教 養 特 別 講 義 B	2	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 基 礎 探 究	2	
	教 育 学	2	○ボランテニア研修	2	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 実 践 探 究	2	
	生 物 学	2	○インターンプログラムⅠ	2	ス ポ ー ツ 健 康 科 学 P B L 学 習	2	
	地 球 と 宇 宙 の 科 学	2	○海外研修	2			
	地 理 学	2	リベラルアーツ入門	2			
心 理 学	2						
言 語	* 英 語 A	1	実 践 英 語 A	2			1外国語4単位（*印の科目を修得）以上
	* 英 語 B	1	実 践 英 語 B	2			
	* 英 語 C	1	実 践 英 語 C	2			
	* 英 語 D	1	実 践 英 語 D	2			
	* ドイツ語入門Ⅰ	2	ド イ ツ 語 応 用 A	2			
	* ドイツ語入門Ⅱ	2	ド イ ツ 語 応 用 B	2			
			ド イ ツ 語 応 用 C	2			
			ド イ ツ 語 応 用 D	2			
	* フランス語入門Ⅰ	2	フ ラ ン ス 語 応 用 A	2			
	* フランス語入門Ⅱ	2	フ ラ ン ス 語 応 用 B	2			
			フ ラ ン ス 語 応 用 C	2			
			フ ラ ン ス 語 応 用 D	2			
* 中国語入門Ⅰ	2	中 国 語 応 用 A	2				
* 中国語入門Ⅱ	2	中 国 語 応 用 B	2				
		中 国 語 応 用 C	2				
		中 国 語 応 用 D	2				
* 韓国語入門Ⅰ	2	韓 国 語 応 用 A	2				
* 韓国語入門Ⅱ	2	韓 国 語 応 用 B	2				
		韓 国 語 応 用 C	2				
		韓 国 語 応 用 D	2				
				特 修 外 国 語 A	2		
				特 修 外 国 語 B	2		
* 日 本 語 Ⅰ	2					外国人留学生および帰国子女対象の科目	
* 日 本 語 Ⅱ	2						
実 務 基 礎	キャリアデザイン入門Ⅰ	2	生 涯 ス ポ ー ツ 指 導 論	2	キ ャ リ ア デ ザ イン Ⅱ	2	修得した単位は、卒業単位数に充当できる。
	税務・会計入門	2	生 涯 学 習 概 論	2	キ ャ リ ア デ ザ イン Ⅰ	2	
	財務・会計入門	2	図 書 館 概 論	2	キ ャ リ ア デ ザ イン Ⅱ	2	
	不動産学入門A	2	博 物 館 概 論	2	A I 入 門 演 習	2	
	不動産学入門B	2	日 本 語 教 育 概 論	2			
	不動産鑑定理論入門	2	行 動 科 学 概 論 A	2			
	IT実務入門	2	行 動 科 学 概 論 B	2			
	公務員入門	2	A I 活 用 入 門 A	1			
	スポーツ指導論	2	A I 活 用 入 門 B	1			
	アスリート指導論	2					

注) 1. *印の科目は必修科目を示す。
 2. 「リベラルアーツ入門」を修得済み又は同時履修をしなければ、「人文芸術基礎探究・実践探究・PBL学習」「社会科学基礎探究・実践探究・PBL学習」「自然科学基礎探究・実践探究・PBL学習」「スポーツ健康科学基礎探究・実践探究・PBL学習」を履修できない。
 3. 「言語」区分のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語において、入門Ⅰを修得しなければ、原則として入門Ⅱを履修できない。
 4. 「言語」区分のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語において、応用A～Dを履修するには原則として入門Ⅰを修得済み又は、同時履修をしなければならない。
 5. ○印の科目は集中講義を示し、履修するには各科目で実施する説明会への参加が必要である。
 6. 「AⅠ活用入門A」「AⅠ活用入門B」の単位を修得しなければ「AⅠ入門演習」を履修できない。